

## 市立伊丹病院

### 手話通訳や指差しカードの導入等による医療現場内外における聴覚障害者とのコミュニケーションの円滑化とバリアのないまちづくりへの貢献

#### ●取組の概要

市立伊丹病院では、兵庫県内で初めて手話通訳士を院内に配置したほか、聴覚障害をお持ちの方との意思疎通を容易にする指差しカードを導入し、これが市内の各施設やバス事業者などの施策に取り入れられるなど、医療現場内外における聴覚障害者とのコミュニケーションの円滑化に寄与。また、約40年間活動を継続している病院内の手話サークル「たんぽぽ」による地域を巻き込んだ手話学習会や、手話通訳を介した講演会を開催するなど、地域におけるバリアのないまちづくりに寄与する取組みを実施。



外来診療での手話通訳対応の様子



院内手話サークル「たんぽぽ」勉強会  
(元代表・江木氏)



聴覚障害者用 入院・外来診療説明用ツール



聴覚障害者等を対象とした医療講演会

#### ●今後期待される取組

今後、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくると、手話通訳士の通訳活動の更なる需要増加が見込まれるため、手話通訳士を配置する他院との情報交換を行い相互にレベルアップを図ることに期待。

## 徳島県立近代美術館

### 学芸員、障害当事者、サポーターが一体となってつくる ユニバーサルミュージアム

#### ●取組の概要

徳島県立近代美術館では、障害の有無や年齢に関係なく、誰もが安心して自分らしく鑑賞を楽しむことができるユニバーサルミュージアムを目指し、視覚・聴覚障害をお持ちの方がナビゲーターを務める鑑賞会を開催するなど、インクルーシブな取組みを実施。



言葉や点字が書かれた積み木を  
3つ繋げて会話する「ミツミキ」



障害当事者がアートイベントサポーター  
として進行役を務めるプログラム



筆談によるアート鑑賞



車いすユーザーの目線に配慮した  
「体にやさしいユニバーサル展示:好きな目線で」展

#### ●今後期待される取組

今後、全国各地の美術館で共生社会や心のバリアフリーを見据えたユニバーサルミュージアムの展開が続くと思われるが、市民の参加と経験の共有・発信などにより、こうした魅力的な取組みのさらなる発展・継続にも期待。